

インパクト投資の今後と環境整備

一般財団法人社会変革推進財団 (SIIF)
Impact Economy Lab 所長
菅野 文美

2023/01/12

インパクト投資のエコシステムを構成する5つの主体（GSG Global）

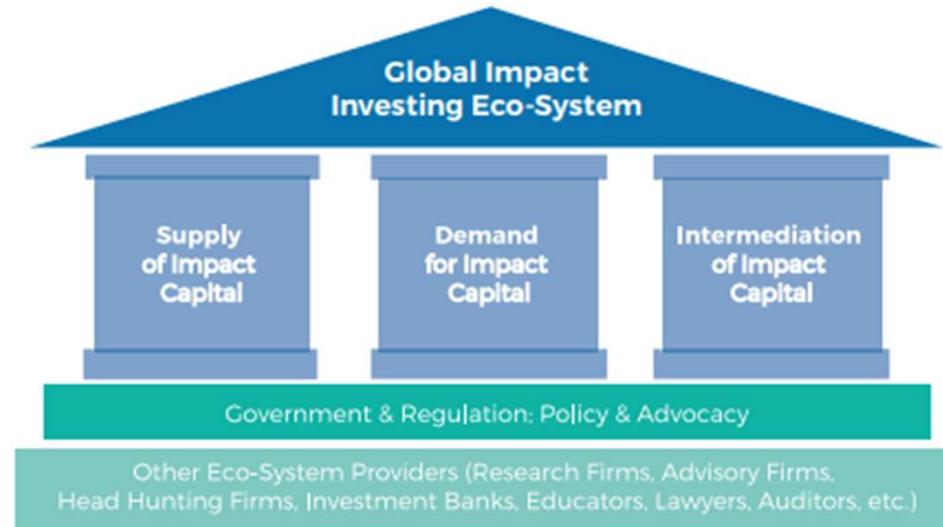
GSG-Globalの整理によれば、インパクト投資のエコシステムを検討するうえで、**5つの主体（インパクト企業、インパクト投資家、中間支援、エコシステムビルダー、政府）**の観点を踏まえることが重要

1. THE GSG FIVE PILLARS

This framework segments the impact-investment ecosystem in terms of its five main actors:

- ▲ **Demand** for impact capital. Representing actors that provide impact solutions and have financing needs to carry out those solutions.
- ▲ **Supply** of impact capital. Representing actors that provide funding, directly or indirectly, to impact businesses. These include institutional investors, high net worth individuals and retail investors.
- ▲ **Intermediaries**: Facilitate the exchange of impact capital between the supply and demand side. These include funds (often venture capital, growth funds or fund of funds), as well as wholesalers and stock exchanges.
- ▲ **Ecosystem enablers**: Includes actors that facilitate the impact ecosystem, without necessarily providing capital. These range from financial advisors to research centres or NABs.
- ▲ **Government**: Catalyses the ecosystem through its policy making tools.

FIGURE 1:
GSG five pillars

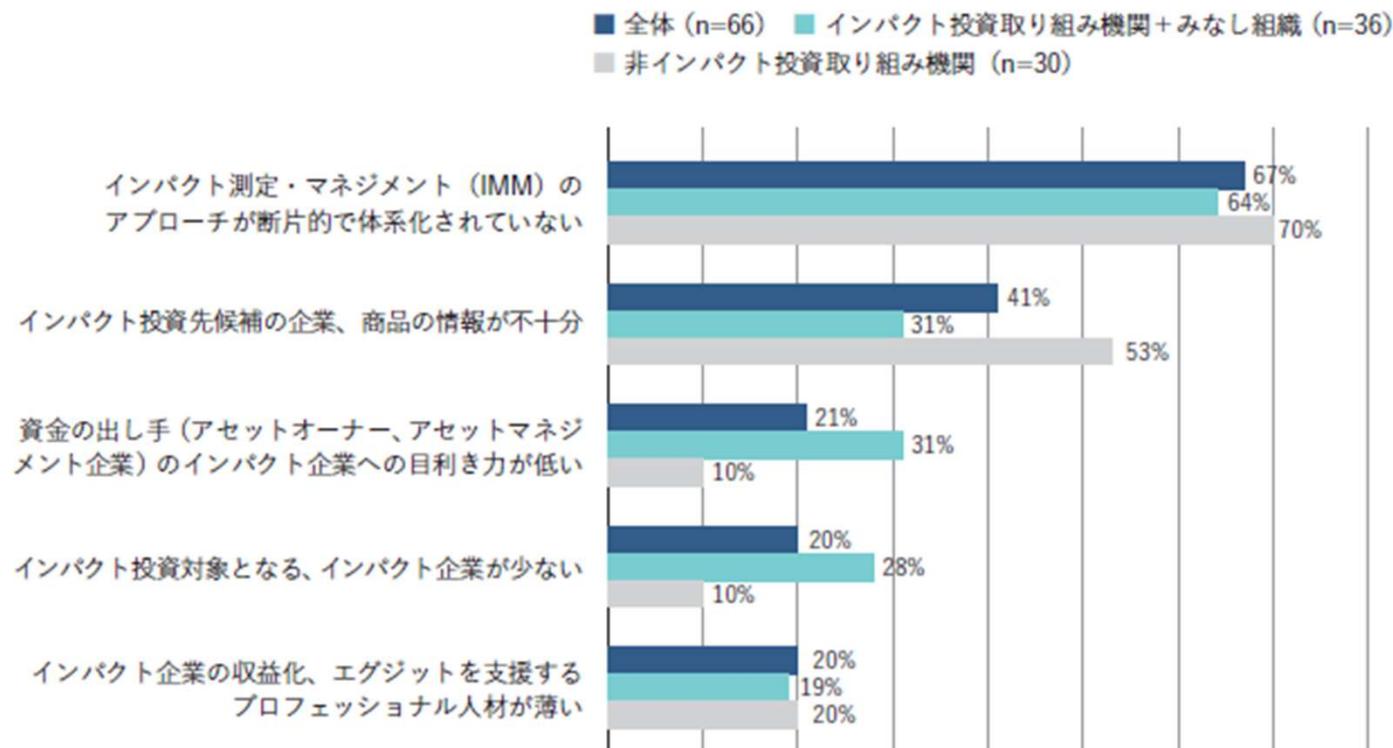


出典 [Catalysing an Impact Investment Ecosystem: A Policymaker's Toolkit](#) / GSG Global（2018年10月）

インパクト投資市場（日本）における、今後の課題

日本のインパクト投資市場の今後の課題としては、**第一にインパクト測定・マネジメント手法の体系化、そしてインパクト企業に関する情報や投資先候補の厚み、インパクト投資の実務の担い手の厚みが挙げられる。**これら今後の課題を見据えた、エコシステム構築のための環境整備が必要。

図表 8. インパクト投資を増やすうえでの課題¹³



出典 一般財団法人社会変革推進財団 (SIIF) 発行/GSG国内諮問委員会監督「日本におけるインパクト投資の現状と課題」報告書 (2021年度)

対象設問 「問D6 / E1. 今後日本のインパクト投資を増やそうとするに当たり、どのような点が問題だと思われますか。(複数回答3つまで)」

* なお、「みなし組織」とは本報告書回答時点では既にインパクト投資に取り組んでいるものの、調査対象期間の都合でインパクト投資残高には入らなかった組織

社会課題解決の加速、そのためのイノベーション促進

インパクト投資：
触媒的資金の拡充、多様化

インパクト企業：
育成・可視化

インパクトデータ・エビデンス：
データベースの構築・接続

インパクト人材：
教育・育成・交流の促進

協働基盤：
官民/民民連携型プラットフォームの構築・接続

更なるインパクト成果の向上、インパクト・ウォッシュの予防のために、**インパクト測定・マネジメント (IMM) の効果・効率・信頼性の向上に資する、質の高いデータやエビデンスの蓄積**が急がれる。

施策案

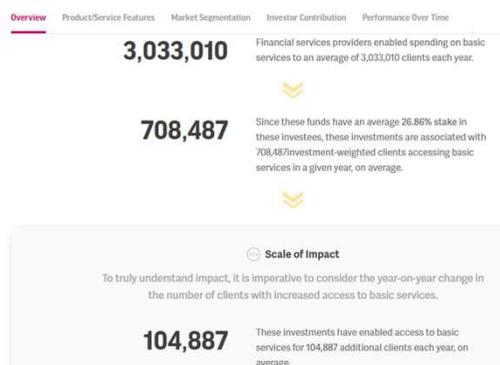
- **<調査・整理>** インパクトは多面的であるため、活用目的・ニーズ別に必要なデータやエビデンスの切り口を整理する。想定される切り口として例えば以下。
 - 分類：日本の主要な社会環境課題、アウトカム
 - エビデンス：KPI、因果関係の学術根拠
 - ベンチマーク：アウトカム実績、リターン実績
 - 経済的価値の試算：投資機会規模、便益試算 等
- **<接続と構築>**
 - ①グローバルプラットフォーム（既存）に接続：日本のデータやコンテキストを発信・掲載
 - ②インパクトエコノミー研究所（仮）の構築：日本のIMMデータを集約するプラットフォーム（運営主体は民間（大学等））→①に還流

政府の役割案

- 日本の主要な社会環境課題やアウトカムの抽出への参画、政策データ・エビデンスの提供、整備、活用（EBPMと連動）
- 民間が運営するプラットフォーム・研究所への資金拠出

参考事例

Clients accessing financing for basic services



Impact Lab

概要：インパクト実績のベンチマーク、リスク・リターン・インパクト・流動性の関係性など市場のインフラツールの開発を担う組織（2022/10新設）

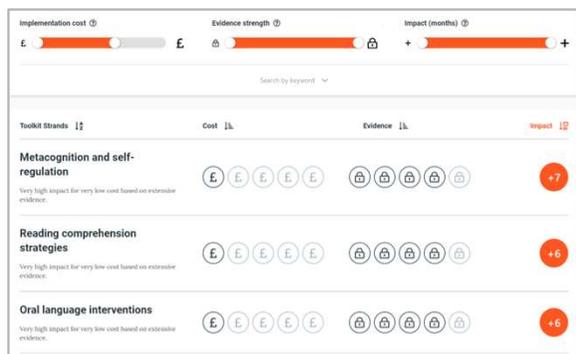
主体組織：GIIN

アクセス：

<https://impactlab.thegiin.org/>

<https://iris.thegiin.org/plus/home/>

<参考> [プレスリリース](#)



What Works Network

概要：英国政府が各分野で専門性を持つ研究機関（現在10機関）に委託し、政策エビデンスの創出、翻訳、実践の普及、評価、改善提言を行う。

主体組織：英国政府、研究機関

アクセス：

<https://impactlab.thegiin.org/>

<参考> [プレスリリース](#)

出所：いずれも同取組みポータルサイト

インパクト企業の育成・可視化：認証やプロモーション

- 国内のインパクト投資促進のモメンタムは、投資家が事業者よりも先行。インパクト投資が発展するためには、**インパクト企業／起業家の増加やインパクト経営の促進**が、両輪となる必要がある。
- インパクトを経営や事業運営に統合させる企業を増やしていくためには、**ノウハウ構築・共有**とともに、**認証やプロモーションなど、インセンティブ（財務に限定しない）の設計と導入**が必要。

施策案

- **<ノウハウの構築・共有>**
 - インパクト経営・IMM活用の実践共有、事例集やガイドランスなどの制作、研修
 - 上場志向のインパクトスタートアップのためのインパクトIPOの推進
- **<認証の取得促進>** 国内のインパクト企業の民間認証の仕組みの整備、取得促進（B Corp、SDG Impact等）
- **<認知度向上・ムーブメント醸成>** アクセラレータープログラム、表彰制度等の設置、プロモーション（官民）

政府の役割案

- インパクト経営導入の研修事業への補助
- 民間認証の推進（認証制度の公認、認証機関の支援）
- アクセラ、表彰制度の設置、
- 認証・表彰企業へのインセンティブ付与（公共調達、資金調達における優遇など）

参考事例



B Corp Certification / B Impact Assessment

概要：環境や社会に配慮した公益性の高い企業の民間認証制度および公益性の測定ツール

主体組織：B Lab

アクセス：

<https://www.bcorporation.net/en-us>



日本スタートアップ大賞

概要：社会的インパクトのある新事業を創出したスタートアップを表彰

主体組織：経済産業省等

アクセス：

<https://www.meti.go.jp/press/2022/06/20220602002/20220602002.html>

出所：いずれも同取組みポータルサイト

インパクト企業の多様なニーズに応える、触媒的な資金（Catalytic Capital）の供給を拡充

- **インパクト企業の事業モデルや成長シナリオの多様性に応じて、資金供給の多様化**が必要。
- 市場水準の財務リターンを求めるインパクト投資が主流となる中、インパクト拡大のために財務面を譲歩した**触媒的な資金**は、既存の金融機関から資金調達が不可能なインパクト企業・事業への投資を通じ、イノベーションの促進や、他投資家のインパクト投資機会拡大などにつながり、重要。

施策案

- **＜休眠預金制度の更なる活用＞** 休眠預金の出融資解禁を受けて、同制度における資金供給量（特に出融資）を更に拡大し、同制度を通じて、インパクト企業／事業とともに、インパクト金融の担い手を育成する
- **＜新しいインパクト投資の担い手の拡大＞** 従来のメインストリームの金融機関・業態に加え、政府系（開発）金融機関、財団・学校法人、個人によるインパクト投資を推進する
- **＜触媒的な資金提供の拡大のためのスキーム開発・推進＞** ブレンデッドファイナンス、ポジティブなインパクト拡大のために通常より高いリスクや市場より低いリターンや長期の投資期間等を設定した商品、多様なエグジット設計

政府の役割案

- 休眠預金制度における出融資の拡充の推進
- 財団・学校法人によるインパクト投資の推進・ガイドライン整備
- 触媒的な資金スキームへの資金提供

参考事例



Catalytic Capital Consortium

概要：触媒的な資金提供を行うファンドやスキーム等への出資（例：Prime Impact Fund）、商品開発や環境整備事業への助成

主体組織：マッカーサー財団、オミディア・ネットワーク、ロックフェラー財団

アクセス：[Catalytic Capital Consortium - MacArthur Foundation \(macfound.org\)](https://catalyticcapital.org/)



立命館ソーシャルインパクトファンド

概要：学校法人の起業・事業化支援プログラムの全体像の中にインパクト投資を位置付ける

主体組織：学校法人立命館

アクセス：<https://r-rimix.com/fund/>

- インパクト投資家・金融機関／インパクト企業の**双方でインパクト人材の厚み**が増すことが大切。
- 欧米においては、業界内および官民公セクター間の転職も盛んで、大学や専門機関でのインパクト人材育成コースも増えつつあり、インパクト人材市場が一定程度成り立っている。

施策案

- **<人材の流通>** 大企業や金融機関からインパクト企業への出向や人材交流の促進
 - 大企業や金融機関、その従業員はベンチャー企業からイノベーションを学ぶことができ、受入側のベンチャー企業は人材を補充することができ、双方にメリット
- **<人材の教育育成>**
 - 大学・大学院等に、インパクト投資やインパクト経営関連学部・講座の設置
 - 中学高校・大学の金融リテラシー教育への社会性（インパクトの観点）の追加
 - 消費者保護や資産形成の観点に加えて、社会性（サステナビリティ／ESG／インパクト）の要素の拡充

政府の役割案

- インパクト企業への出向等に対する人件費補填
- サステナブルファイナンスの専門人材育成施策と連動して、スキルマップの可視化、研修・大学講座等の補助・後援
- 金融リテラシー教育へのインパクト投資の追加

参考事例

Oxford Impact Investing Programme

Build your investment skills to deliver maximum social return

Apply Download brochure

Start date: 6 February 2023

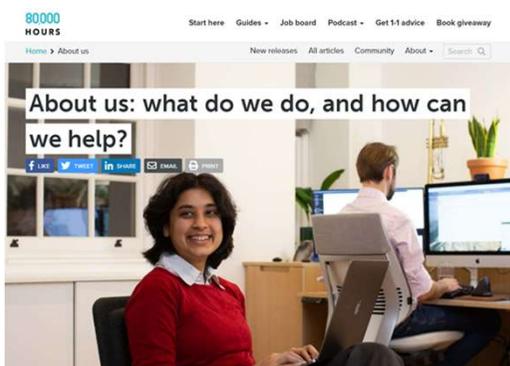


Oxford Impact Investing Programme

概要：英国ビジネススクールで提供されるインパクト投資の実務講座

主体組織：Oxford University
アクセス：

<https://www.sbs.ox.ac.uk/programmes/executive-education/campus-open-programmes/oxford-impact-investing-programme>



80,000 hours

概要：インパクトや社会課題解決志向のキャリア機会の情報を提供

主体組織：Effective Ventures Foundation

アクセス：
<https://80000hours.org/>

出所：いずれも同取り組みポータルサイト

Copyright© 2023 SIIF All Rights Reserved.

インパクト投資／インパクト企業の推進は民間の自主性に委ねることを基本としつつも、インパクト市場を支えるような、インパクトデータ、インパクト企業への動機付け、触媒かつ多様な資金、インパクト人材など、市場のすべてのプレイヤーが恩恵を受けるような市場環境の基盤整備は、**官民や多様な民間主体の民民で連携**して進めることが必要な部分もある

施策案

- **<官民/民民連携型プラットフォームの設置>**
 - これまで重点事項として挙げてきた、インパクトデータ、インパクト企業の可視化、触媒かつ多様な資金、インパクト人材についての環境整備を目的とした、官民/民民連携型プラットフォームの設立

政府の役割案

- 事務局として、政府にインパクト投資／インパクト企業（インパクトエコノミー）推進室（仮）の設置

参考事例

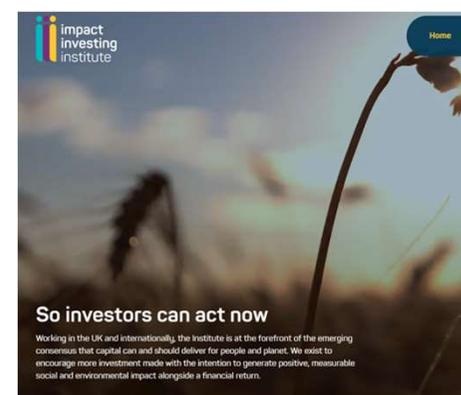


Government Outcomes Lab

概要：英国省庁と民間組織・アカデミアが連携して、社会的アウトカムを高めるためのナレッジハブ

主体組織：Oxford University
アクセス：

<https://golab.bsg.ox.ac.uk/>



Impact Investing Institute

概要：英国のGSG国内諮問委員会は投資家・金融機関からチャリティ財団まで多様なメンバー構成

主体組織：GSG-UK(III)
アクセス：

<https://www.impactinvest.org.uk/>

出所：いずれも同取組みポータルサイト

インパクト投資からインパクトエコノミーへ

GIINの“New Capitalism”や岸田政権の「新しい資本主義」などの国内外動向からも見られるように、**社会課題解決の加速や、そのためのイノベーション促進のため**には、インパクト投資の先にあるインパクトに基づく企業経営や、インパクトがあらゆる意思決定（投資・生産・消費）に統合された**インパクトエコノミーの構築が重要**である。そのためのグローバル水準の環境整備を進めることが大切。

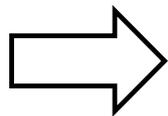
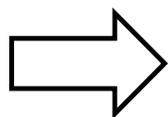
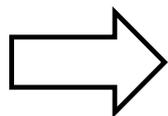
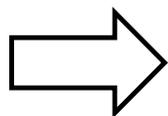
これまで

個別の金融商品・取り組み

個別の事業・取り組み

IMMの取組み

自己評価



これから

金融機関のインパクト経営、
金融システムの移行

企業のためのIMM、
インパクト経営

インパクト実績、
アディショナリティ

認証、検証

国内外動向例

PRI
インパクト志向金融宣言

SDG Impact
インパクト・スタートアップ協会
経団連「インパクト指標」を活用し、
パーパス起点の対話を促進する」

World Benchmarking Alliance
GIIN Impact Lab

B Corp認証、SDG Impact認証
インパクトマネジメント原則
(OPIM) の独立した検証実施義務